

Accessシステム 超リフォーム術

ポイントを抑えて楽々リフォーム



第10回

データアクセスページによる Webへの展開②

T'sWare
星野 努 HOSHINO, Tsutomu
<http://homepage1.nifty.com/tsware/>

Technology Tools

- Visual Basic .NET
- Visual C# .NET
- SQL Server 2000
- Oracle 9i
- Access 2002
- ASP.NET
- Internet Information Services
- Other:
Access 2003

Level



Samples

はじめに

前回に引き続き、Accessの「データアクセスページ」について説明します。

おそらく、データアクセスページを使う人はすでにフォームやレポートをマスターしている人が多いと思います。基本操作はフォーム/レポートもページも大差ありません。そこで、今回はページ全体あるいはコントロールのより詳細なデザインについて解説してみたいと思います。

ページのプロパティ

まず、ウィザードなどで適当なページを作成し、デザインビューにします。フォームなどと同様、その全体のデザインを設定するためのプロパティシートが表示されます(図1)。もし表示されていない場合は、[表示] - [プロパティ]メニューなどで表示させてください。

プロパティシートのタイトルバーには、図1のように「Page:商品」と表示されているはずです。これがページ全体のプロパティを表わします。

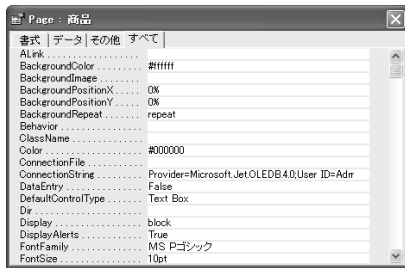
このプロパティシートの役割はフォームなどと変わりありません。異なるのは、ページオブジェクトのプロパティ名が「すべて英語表記」となっている点です。これらのプロパティ名は、VBAでのフォームのプロパティ名とも違います。直感的にわかりにくいかもしれませんが、HTMLのタグやスタイルシート(CSS)を知っている人には覚えやすいプロパティ名と言えます。“多くの設定項目がスタイルシートと同じ”だからです。

たとえば、CSSを使うと、ページ全体、つまりBODYタグの文字色と背景色は次のようなHTMLで記述されます。

```
<BODY style="COLOR: #666666;  
BACKGROUND-COLOR: #ffff80">
```

一方、図1のプロパティシートを見ると、設定項目に「Color」と「BackColor」があることがわかりま

図1：ページのプロパティ



す。実は、CSSでも「COLOR」や「BACKGROUND-COLOR」のような設定項目のことを「プロパティ」と呼びます。つまり、Accessのプロパティシートは、ページオブジェクトのプロパティでありCSSのプロパティでもあると考えることができるわけです。

データアクセスページが最終的にHTMLファイルとして保存されると前回説明しましたが、このプロパティシートの設定値も、何かしらの形でHTMLの中に埋め込まれます。したがって、HTMLのテキストレベルで、後からこれらのプロパティを変更することもできます。ただし、データアクセスページは、タグそのものの属性としてプロパティを設定するのではなく、あくまでもCSSを基本としてページスタイルを設定しています。そのため、HTMLを直接編集する場合はCSSの知識が必要となります。

ここで、ページ全体に関わるプロパティのうち、主だったものを整理しておきます(表1)。データアクセスに関する部分を除き、これらをより詳しく理解するにはCSSのリファレンスと照らし合わせるとよいでしょう。

表1：ページオブジェクトの主なプロパティ

プロパティ	内容
ALink	リンクテキストを選択したときの色
BackgroundColor	ページ全体の背景色
BackgroundImage	ページ全体に表示する背景画像
BackgroundPositionX	背景画像の横方向の位置
BackgroundPositionY	背景画像の縦方向の位置
BackgroundRepeat	背景画像の並べ方。ひとつだけ表示したり、縦横に繰り返し並べたりできる
Color	文字色
ConnectionString	データベースへの接続文字列(どのデータベースファイルと接続するかを設定)。接続はOLE DBで行なうため、OLE DBプロバイダが用意されていれば、SQL Serverなども指定可能
DataEntry	フォームの「データ入力用」プロパティと同様の機能で、「True」に設定すると新規データ入力専用のページとなる
FontFamily	フォントの種類
FontSize	フォントのサイズ
FontStyle	フォントの斜体
FontWeight	フォントの太さ
LinkColor	リンクテキストの色
MarginBottom	ページ下部のマージン(ウィンドウと本文の余白)
MarginLeft	ページ左のマージン
MarginRight	ページ右のマージン
MarginTop	ページ上部のマージン
MaxRecords	データベースから読み込み可能なレコード数。主にネットワーク上のトラフィックを制限するために設定
Overflow	本文がウィンドウサイズを超えたときの表示方法。超えた領域を非表示にしたりスクロールバーを表示したりすることが可能
RecordsetType	レコードセットのタイプ。定数「dscSnapshot」または「dscUpdatableSnapshot」を指定。dscSnapshotに指定するとレコードセットは読み取り専用、各コントロールへのフォーカス移動も不可となる
TextAlign	文字、あるいはセクションのページ全体に対する配置方法
Title	ウィンドウのタイトルバーに表示する文字列
VLink	既読リンクテキストの色

🏠 テーブルやクエリを連結する

フォームやレポートの場合、テーブルやクエリとの連結はフォームオブジェクトなどの「レコードソース」プロパティで設定します。一方、データアクセスページの場合は、データベースへの接続はページオブジェクトのプロパティで設定しますが、テーブルやク

エリの指定は「セクション」の「RecordSource」プロパティで行ないます。

また、ページウィザードやオートページでページを新規作成する場合は、作成の過程でレコードソースを指定することができます。一方、デザインビューでページを新規作成した場合には、プロパティシートでプロパティを直接指定するか、フィールドリストから任